

ふるさと講座・自然系第1回目

「シギ・チドリ観察会」のお知らせ！

この時期数多く見られる「シギ・チドリ」を中心とした観察会を行います。ぜひ、ご参加ください

- 日 時 令和4年5月8日（金）
午前9時30分～12時30分
 - 場 所 野付半島（集合-野付半島ネイチャーセンター2階）
 - 講 師 NPO法人野付・エコ・ネットワーク
 - 定 員 10名
- 電話・FAX・メールにて氏名・電話番号を5月2日（月）か6日（金）にご連絡ください。

- その他 長靴を着用ください。図鑑・双眼鏡をお持ちの方は持参ください。当館でも若干貸出しします。



奥行地区文化財建物内部の一般公開のお知らせ！

- 公開期間 5月1日（日）から11月3日（木）まで
- 公開時間 午前10時から午後4時30分
- 休 館 日 月曜日（ただし祝日・振替休日が月曜の場合は開館）
- 観 覧 料 無料
- 公開する建物 旧奥行臼駅通所・旧奥行臼駅・旧村営軌道風蓮線奥行臼停留所

※見学に際しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の取り組みに御協力願います。



国史跡 旧奥行臼駅通所



町指定文化財 旧奥行臼駅



町指定文化財 旧別海村営軌道
風蓮線奥行臼停留所

豊原分館開館のお知らせ！

- 開館期間 5月～10月 毎週金曜日、最終日曜日
- 時 間 午前10時から午後4時
- 場 所 旧豊原小学校（別海町豊原17-15）



ふるさと講座・歴史系第1回目を実施しました！

歴史の道を歩く！江戸時代のノツケ～野付通行屋跡・番屋跡遺跡

4月24日（日）参加者9名により実施しました。ガイドは、当館石渡が担当しました。

はじめに野付半島ネイチャーセンターで30分ほどレクチャーを行いました。野付通行屋が設置された背景、現地に残る痕跡、古文書資料に描かれたノツケの風景、平成15～17年度に行われた野付通行屋跡遺跡の発掘調査など、野付半島先端部で江戸時代に生活の営みがあったお話をしました。

その後、野付通行屋跡遺跡入口まで車で移動し、そこから約2km歩きました。途中オジロワシ・オナガガモ、ヒドリガモ、オオハクチョウ、エゾシカなどの野鳥を観察しながら遺跡に到着しました。遺跡では、土塁、墓石、建物跡、畑の畝跡などを実際に見学しました。

海岸沿いに陶磁器や金属製品などが落ちていたことから、参加者は、江戸時代の様子を思い描いていたようです。参加者からの質問なども多く、興味関心の高さが伺えました。

「加賀家文書等資料」

「蝦夷物語」から見る「義経伝承」について～その1

現在放送中のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」では、源義経が従兄弟の木曾義仲を討ち取り、一の谷、屋島、壇ノ浦の戦いで平氏を滅ぼします。義経は、その功績として後白河法皇より官位を授けられました。



このことに立腹した兄源頼

アイヌにかつがれている義経、後ろから弁慶

朝は、鎌倉入を許さず敵視し、義経は逃亡、奥州藤原氏にかくまわれましたが、自害しました。

しかし、「兄弟の対立」権力者の兄に一方的に利用され使い捨てのように追い込まれていく姿に義経の死後、延々と同情の声があったようです。いわゆる「判官びいき」です。こう言った同情心は、やがて「義経は生きて、北方に逃れた」という伝説になっていきました。

『加賀家文書等資料』の「蝦夷物語」には、義経が蝦夷地（北海道）に渡りアイヌの願いを聞き活躍した場面が描かれています。次号からその内容について、紹介していきたいと思います。

【引用文献】2011年「アイヌ語別海地方方言資料集成～蝦夷風俗図絵蝦夷語解説2現代語訳～ 付録・歴史編 アイヌの義経伝承 平山裕人」

別海町郷土資料館だより No.274

発行日 令和4年5月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

もともと歴史好きなので、大河ドラマは欠かさずみています。そんな中、当館で取り扱っている資料に義経伝説が描かれています。伝説で義経が渡った北海道の様子は、時代区分ではアイヌ文化期中世の時代、北海道の歴史の中で空白といわれる時代となります。